

## 単元案の概要

テーマ
わたしのおすすめ！（日本人学生と外国人留学生の交流プロジェクト）
目標
学習レベル 日本人学生（日）： 外国人留学生（留）： 4 （日）・外国人留学生が関心を持ちそうなテーマで、自国の文化（日本）を紹介する。 ・外国人日本語学習者にわかりやすい日本語で伝える方法を理解し、実際に伝えることができる （留）・日本語で自国の文化（韓国）について、伝えることができる。 ・日本の文化に関する発表を聞いて理解し、質問できる。
コミュニケーション能力指標
【話題分野】（日）日本のポップカルチャー・関西の観光地・おすすめ料理 （留）韓流・韓国の美容・韓国料理・日韓の大学生生活の違い （留）4-a 自国の料理に関して調べ、特徴についてまとめ、口頭で説明できる。 4-b 自国の大学生生活の特徴について、口頭または文章で説明できる。 4-c 相手国の大学生生活の特徴について、自らの体験も入れ、自国と比較しながら意見交換できる。 4-b 自国のポップカルチャーについて説明でき、日本でどのように扱われているか調べ、口頭で発表できる。 4-j 外国語を学ぶことの意味について考え、話し合うことができる。
学習シナリオ
摂南大学の外国語学部の1年生の日本人学生を対象にした後期の「基礎ゼミ」クラスでは、「日本語を客観的に見る」「外国語学習の方法を学ぶ」ことを目的としている。報告者（門脇）の担当する「基礎ゼミ」クラスと、国際交流センターで日本語を学ぶ外国人留学生の「日本事情」のクラス（センター日本語教員が担当）が協働で、お互いの文化を紹介するという交流プロジェクトを試みた。後期の前半に、各クラスの授業でそれぞれ発表準備を行い、合同で発表会を実施し、その後各クラスで振り返りのセッションを設けた。 ● 発表準備（グループワーク） （日）・テーマ・グループ決定 ・テーマについての資料収集 ・PPT・発表原稿作成（CALL 教室） ・リハーサル →担当教員のコメントを受けて、PPT・発表原稿修正 （留）・テーマについての資料収集 ・PPT・発表原稿作成 →担当教員による添削

<ul style="list-style-type: none"><li>• 中学生対象に発表（大学付属の中学生を訪問し、韓国文化について発表）</li><li>● 合同授業による発表<ul style="list-style-type: none"><li>• PPT、配布資料</li><li>• 各グループの発表を評価する（2名の教員及び参加者全員）。 自分のグループは、自己評価する。</li></ul></li></ul>
<b>総括的評価</b>
<p>(日)・リハーサルでPPT、発表原稿についてコメントする。</p> <p>(留)・PPT,発表原稿についてコメントする</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 学生自身による相互評価、自己評価及び2名の教員の評価</li><li>• 発表後の授業での振り返りセッション及び宿題のレポートの記述により、気づきや学びが見られたかどうか。</li></ul>

### 3×3+3分析(留)

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>自国の料理・ポップカルチャー・大学生生活を紹介するのに必要な語彙・表現がわかる。</li> <li>口頭発表や質疑応答をする際に、必要な表現がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の料理・ポップカルチャー・大学生生活観光地について、留学中の体験から観察し、理解し、比較することができる。</li> <li>日本で韓国のポップカルチャーがどのように紹介されているかわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国と日本の大学生がお互いに自文化を紹介し、意見交換をする意義を理解する。</li> </ul>
できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国を紹介する口頭発表をするためのPPT資料が作成できる。</li> <li>PPT資料を見ながら、韓国紹介の口頭発表ができる。</li> <li>日本人学生の口頭発表を聞いて理解し、質問することができる。</li> <li>発表を聞いた後、内容や発表についてレポートを書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人学生の日本紹介の発表を聞いて、これまでの体験に基づき、自分なりに分析し、考えを表明することができる。</li> <li>日本人学生との意見交換を通して、自文化について再認識することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PPTをわかりやすく作成し、口頭発表で効果的に使用し、言いたいことを伝える。</li> <li>自国の文化の特徴をアピールできる。</li> <li>グループで役割分担をし、連携して口頭発表・質疑応答ができる。</li> </ul>
つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで積極的・主体的に発表内容について意見交換し発表資料を作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人学生から日本文化の紹介を聞く。</li> <li>自文化を紹介する。</li> <li>日本人学生の日本文化紹介を聞き、これまでの既有知識と新しい学生個人のオリジナルな情報とをつなげて自分なりに考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の発表に対して質問したり、意見や感想を述べたりすることができる。</li> <li>日本の高校生や大学生に、韓国紹介の発表をすることで、韓国に関心を持ってもらい、今後交流を続けていくためのきっかけとする。</li> </ul>
三連携	連携1：料理・ポップカルチャー・大学生生活・観光地等、留学生・日本人学生双方の関心事を生かした活動 連携2：(留)日本人学生の日本紹介の口頭発表によって日本文化を学ぶ「日本事情」のクラス (日)留学生の外国語として日本語を学ぶクラスとの連携、 連携3：外国語学部の日本人学生のクラスと国際交流センターの外国人留学生クラスの連携による合同授業 学内における「教師間の協働」によるプロジェクト		

## 評価ルーブリック

テーマ:わたしたちのおすすめ! (日本人学生と外国人留学生の交流プロジェクト)

指示文:(日) 留学生に日本を紹介するプレゼンテーションを行います。(留) 日本人学生に韓国を紹介するプレゼンテーションを行います。  
各グループ、発表15分、質疑応答5分です。スライドは表紙を含め各グループ10枚以内とし、発表原稿は日本語で作成してください。プレゼンテーションでは留学生が日本に滞在している間に体験してみようと思うような説明文にしてください。インターネットで調べれば出てくる内容ではないオリジナルな情報、体験を入れてください。プレゼンテーションはメンバー全員が発表できるように分担してください。

台本は暗記し、正確で聞き取りやすい発音と表現を心がけてください。

審査ではプレゼンテーションの発表とパワーポイントの完成度で評価します。

また、留学生の韓国紹介の発表を通して、韓国のことを理解するようにしてください。

(留) 韓国の日本を比較し、オリジナルな情報や自分自身の体験などを入れ、日本人学生が韓国に興味を持つような説明をしてください。日本人学生の日本紹介の発表を通して、気づいたことをメモしてください)

質疑応答では、積極的に質問をしてください。

評価基準	よくできている (3点)	まあまあできている (2点)	目標達成までもう少し! (1点)
興味が持てるような内容	<ul style="list-style-type: none"><li>具体的な例や、資料が十分ある。</li><li>オリジナルの情報が入っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>具体的な例や資料、オリジナルな情報が、ある程度は入っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>具体的な例や資料、オリジナルな情報が、不足している。</li></ul>
見やすいPPTの作成	<ul style="list-style-type: none"><li>文字の大きさ、量が適切である。</li><li>レイアウトがわかりやすい。</li><li>写真等の視覚情報を効果的に使っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>文字が小さかったり、文字数が多かったりして、見づらい部分がある。</li><li>視覚情報のある程度は使っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>全体的に。文字が見づらくレイアウトがわかりにくい。視覚情報も不十分である。</li></ul>

<p>口頭発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• わかりやすい表現を使う。</li> <li>• 聞き手に問いかける等、聞き手に配慮して話を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• わかりやすい表現を使う。</li> <li>• 聞き手に問いかける等、聞き手に配慮して話を進めている。</li> </ul> <p>上記2点がある程度できている。 /どちらか1点のみできている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• わかりやすい表現になっていないところがある。</li> <li>• 一方的に話を進めている。</li> </ul>
<p>発表態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 声の大きさ、速さが適切である。</li> <li>• アイコンタクトができている。</li> </ul> <p>上記2点ができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 声の大きさ、速さが適切である。</li> <li>• アイコンタクトができている。</li> </ul> <p>上記2点がある程度できている。 /どちらか1点のみできている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 声の大きさ、速さが適切ではない</li> <li>• アイコンタクトがあまりできていない。</li> </ul>
<p>レポート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分のグループの発表内容のよかった点、改善点が十分に書かれている。</li> <li>• 他のグループの発表を聞いて、気づいた点、学んだ点、考察した点について詳しく書かれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分のグループの発表内容のよかった点、改善点がある程度書かれている。</li> <li>• 他のグループの発表を聞いて、気づいた点、学んだ点、考察した点についてある程度書かれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分のグループの発表内容のよかった点、改善点の記述が十分ではない。</li> <li>• 他のグループの発表を聞いて、気づいた点、学んだ点、考察した点についての記述が限られている。</li> </ul>

### 目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで協力して情報収集をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで協力して、情報収集をし、発表内容を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自文化について調査し、日本人学生/外国人留学生に口頭発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自文化の魅力を日本人学生/外国人留学生に伝えるために日本語で口頭発表し、お互いの文化を紹介し、相互理解を深める。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙を入れてスライド 10 枚以内で PPT を作成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PPT を日本語で作成する。</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>レイアウト（字の大きさ、配置、情報量）、わかりやすい表現を工夫する。</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手である学生が興味を持つような内容を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表原稿を作成する。</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで話す順番と内容を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭発表のリハーサルをする。</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>先生、他の学生からのコメントを受けて、台本と PPT を修正する。</li> </ul>					
形成的評価：PPT のスライド（日）、発表原稿（留）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価項目に留意して、日本語でプレゼンテーションをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人学生、留学生の前で口頭発表をする。</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>質問に答える</li> </ul>					

<ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループの発表を聞いて質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭発表を聞いて意見交換をする。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループの発表を評価する。(自分のグループは自己評価)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭発表を聞いて評価する。</li> <li>自分のグループの発表を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭発表を振り返る。</li> </ul>	
形成的評価：修正した PPT、発表内容、評価シート			
<ul style="list-style-type: none"> <li>合同授業後にレポートを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の発表について振り返る。</li> <li>他のグループの発表を聞いて気づいたこと、学んだことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流活動を振り返る。</li> </ul>	
形成的評価：レポート、教員 2 名のコメントシート			
<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス全体で振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート内容、教員の</li> </ul>		

【成果物】

- 各グループのテーマ別 PPT
- 口頭発表を録画した映像
- 学生及び教員の評価シート
- 教員 2 名のコメントシート
- レポート

### 【学習者の個人的特性に対する対応】

(日)

- 幼少期をカナダで過ごした帰国子女の学生。グループのメンバーと密に連絡を取り合っていなかった。また、発表準備のとき欠席が2回続き、リハーサルも皆と一緒にできなかった。リハーサル終了後に、発表予定のPPTを教師宛にメールで送ってもらい、それを教師が見てコメントして、修正するように促した。

(留)

- 留学生グループの4人の間で話す能力にレベル差があった。内容、テーマ、話す順番を4人で相談して決めるように教師が指示した。積極的に話す学生が、最初に発表した。